

この度は弊社製品をご採用頂きありがとうございます。

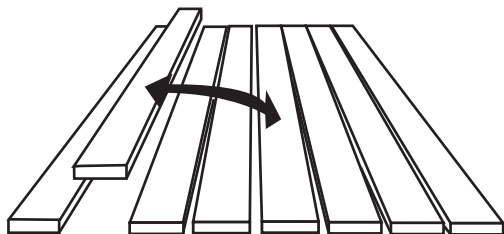
施工終了後この説明書をお施主様にお渡しください。

無垢フローリングは、保湿効果、調湿効果に優れシックハウスの原因物質とされているホルムアルデヒドの放散値も平均 0.1 mg / l 以下の安全で体にやさしいフローリングです。また、天然木の性質上、保管状況、使用環境によって、反り、割れ、狂い、虫の発生を引き起こす場合がまれにあります。お施主様の快適な暮らしのために、必ずこの説明書をよくお読みいただき、無垢材の特徴をよくご理解の上、施工してください。

1 施工前に確認を

- ▶ 無垢材の性質上、膨張、収縮を防ぐために開梱した状態で必ず一週間位放置し、十分施工現場環境に馴染ませてください。
- ▶ 当製品は、内装用です。外装には使用しないで下さい。
- ▶ 床暖房には使用できません。ホットカーペットもお控え下さい。
- ▶ 換気口は充分ですか。(建築基準法施工例：外壁の床壁部に、長さ 5m以下毎に 300 cm²以上の換気口設置)
※床下の換気が充分でない場合、施工後に「暴れ」「突き上げ」「床鳴り」が発生する恐れがあります。

2 仮並べ

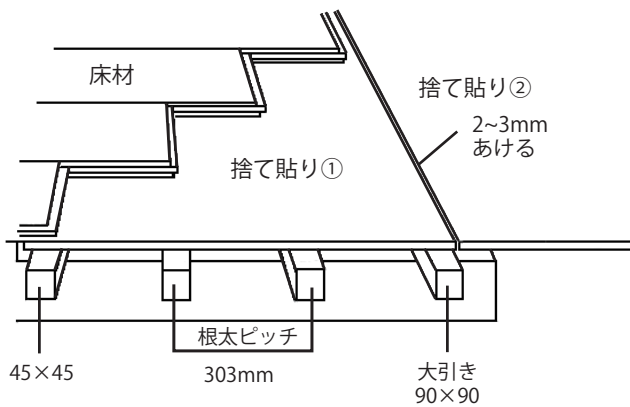


- ▶ 天然木ですので、貼り始める前に仮並べをし、色、柄のバランスをとって施工してください。

3 割り付け

- ▶ 両端に小幅材がこないよう、貼り込み前に割り付けを行ってください。

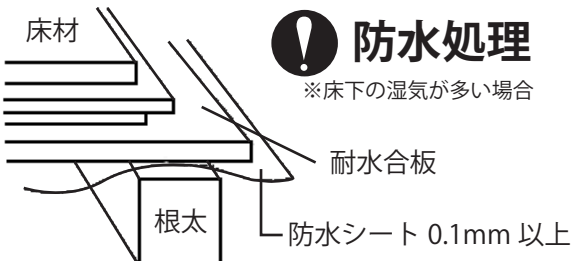
4 下地施工



- ▶ 大引きは 90 mm角以上、根太は 45 mm角以上の乾燥材を使用し、プレーナーで平滑に仕上げてください。
- ▶ 大引き間隔は 3 尺、根太は 1 尺 (303 mm) とし、レベル (水平) を出して施工してください。
- ▶ 必ず捨て貼りをし、たとえば合板では 12 mm以上の耐水合板を (F☆☆☆クラス以上) を使用して下さい。また、捨て貼り合板の間は、2 ~ 3 mmあけて施工してください。尚、床下の湿気が多い場合は 0.1 mm厚以上の防水シートを根太と捨て貼り合板の間にしき込んで施工して下さい。
- ▶ フローリングは根太と直交するように施工し長手方向のジョイントは根太上にくるようにして下さい。

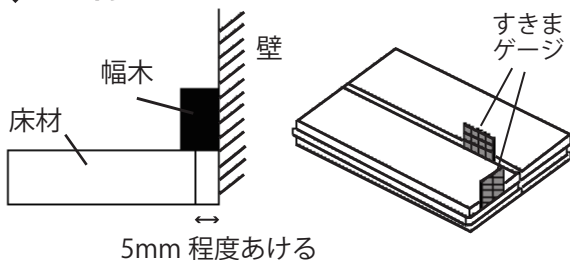
！ 防水処理

※床下の湿気が多い場合

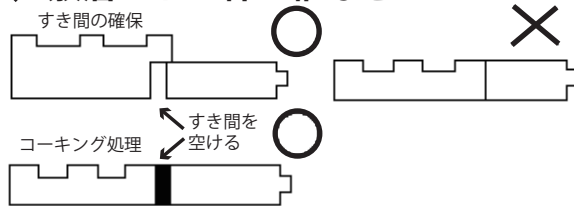


5 貼り込み (接着剤の塗布)

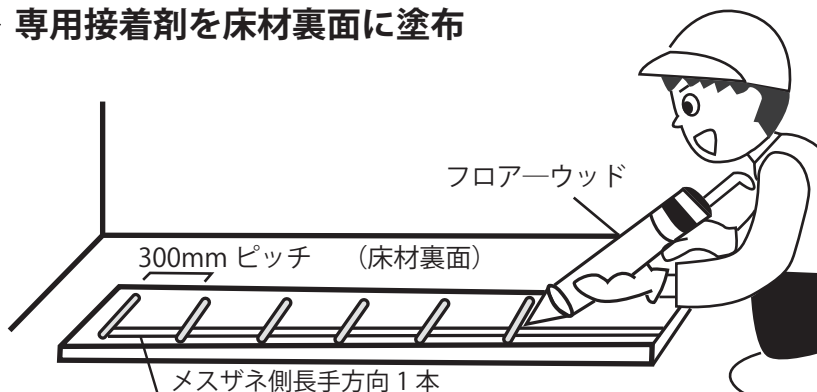
◆ 壁際



◆ 敷居・ドア枠・框など



◆ 専用接着剤を床材裏面に塗布



！ 接着剤の塗布を誤ると施工後の反り、突き上げ、あばれ等の原因になります。

※推奨接着剤

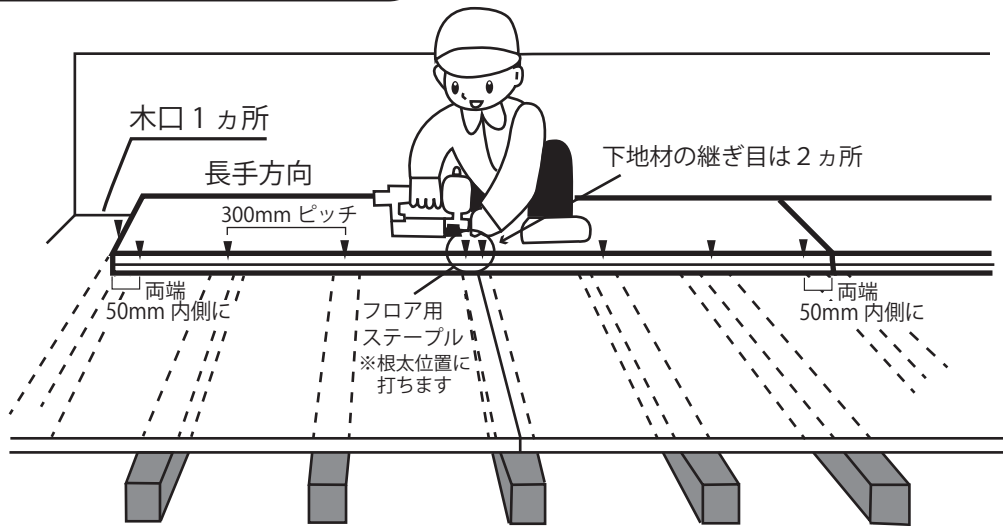
◆ 接着剤が床表面についたら



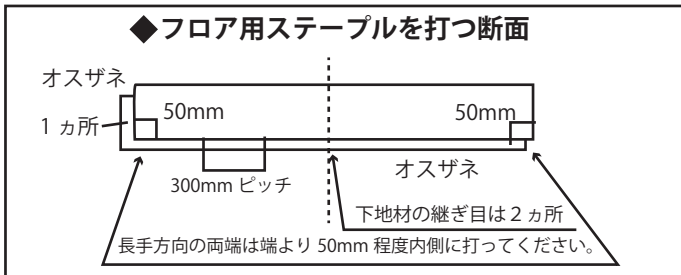
※すきまゲージ 2 枚封筒に在中

- ▶ 施工は必ず糊釘併用で行ってください。接着剤はフロア専用接着剤 (株)オーシカ・セレクトィ) をご使用ください。水性接着剤及び酢ビ素接着剤は使用しないで下さい。(木工用白ボンドは使用できません)
- ▶ 貼り込みは、きつく締め付けると、無垢材の性質上、反り、突き上げの原因となります。
- ▶ 実を強く叩き込み過ぎると、無垢材の性質上、膨張時に反りが発生する場合があります。必ず同梱包の名刺大「すきまゲージ」を使って、ジョイント部にクリアランスをとってください。また壁際は 3 ~ 5 mm程度、あけてください。

6 フロア用ステープルで固定



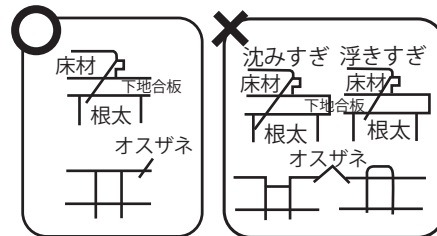
◆フロア用ステープルを打つ断面



❗ ステープルを立てて打つと、オスザネ下部が破損し、メスザネが入りにくくなります。ステープルをねかし過ぎると、表面にフクレがおこる場合があります。

◆フロア用ステープルの打ち方

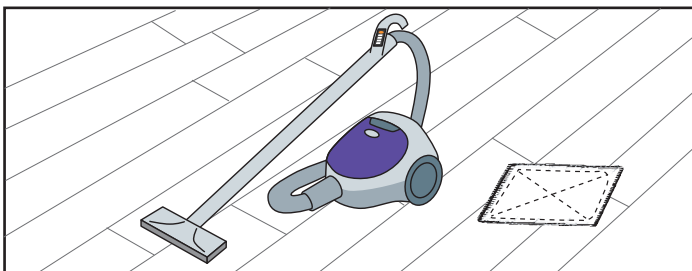
- ・約 45°の角度で打つ
- ・ステープルの頭を沈める



7 はき出し窓部の・敷居おさまり

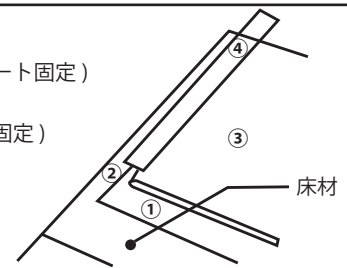
▶ はき出し窓サッシへの収め、又敷居（同面）収めの場合は必ずクリアランスをとり、コーティング処理をして下さい。

8 養生



順序

- ①養生シート
- ②床養生テープ（シート固定）
- ③保護用合板
- ④養生テープ（合板固定）



▶ 床面のごみを掃除機で吸い取ったあと、水気を避け、乾いた雑巾でほこりをふき取ってください。

▶ 窓ぎわは、石膏ボードの粉がたまりやすく、しかも、木目の入るとほとんどとれませんので窓ぎわまで隙間なく養生テープを貼ってください。

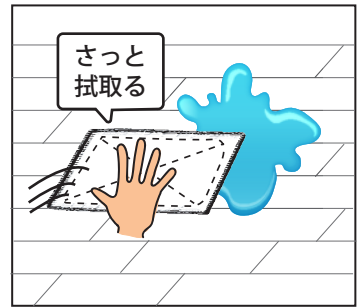


施工後に確認

- 施工の際、傷が入っていませんか？
- 養生は完璧ですか？
- この説明書は必ず施工主にお渡し下さい。

雨漏れ・水漏れ

製品の表面に耐水性に優れた塗装で保護しておりますが、長時間の雨漏れは製品のシミ、汚れの原因となりますので、速やかにふき取ってください。またキッチンや洗面所など、水をよく使用する場所には、水切りマットを敷いてください。



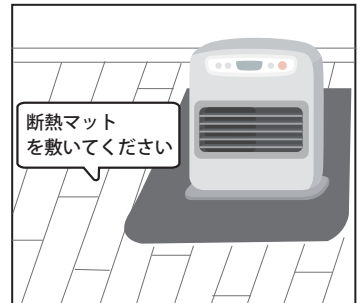
キャスター・重量物

机、テーブルやイスの脚にはゴムキャップをかぶせて、ご使用ください。ピアノなどの重量物は敷き板を介して置いてください。荷重のかかった状態でキャスター付きのイスやワゴンを動かすと大きなダメージを受けやすいので、カーペットを部分敷きして表面を保護してご使用ください。



熱

通常の木質床材にホットカーペット、温風ヒーター、ストーブなどの熱が直接当たるような使い方は、目隙や表面割れを引き起こすことがありますので、避けてください。これらを使用される場合は断熱性の高いマットを敷いて、ご使用ください。断熱マットは家電販売店でお求めください。



色違い・やけ

天然銘木のため1枚1枚、色柄は異なります。製品カタログなど印刷物との間に隔たりがある場合もありますので、ご了承ください。また、木材は天然光線中の可視光線成分や紫外線成分を吸収して、自らも変色していきます。その結果として、光が当たった部分とそうでない部分で色が異なる状態が生じることもありますので、カーテンなどで遮るなどして、できるだけ直射日光に晒さないよう、ご配慮をお願いいたします。

無垢フローリングの注意点とクレーム規約

無垢フローリング商品は天然木のため、どうしても多少の不具合が生じる場合があります。どうぞ無垢材という事をご認識いただきご理解ください。施工される前の商品につきましては、万一不具合が生じた場合、お取替え、返品に応じさせていただきます。既に施工されました後の商品につきましては、交換返品クレームの対応は出来かねますので施工説明書をお読みいただき商品をご確認のうえ施工されますようお願いいたします。

- (1)無垢フローリングは天然木のため、ご使用されます部屋・現場の湿度温度などの環境条件で膨張したり収縮したり致します。その結果、膨張作用からフローリングのネジレや突き上げ、あるいは板中の誤差や表面亀裂が生じ、又、収縮作用からジョイント間に隙間等が生じる事があります。これらのトラブルは基本的にクレームの対象になりませんのでご注意ください。
- (2)無垢フローリングは天然木のため、人工乾燥材であっても稀に木くい虫の卵が原木内に入っている事があります。時間が経過し卵が成虫となり羽化してフローリングの表面から出て来る事があります。現在、日本でも生産国でも強度の防虫薬剤の使用は制限されており防虫に対応する事はできません。万一、ご使用されているフローリングに虫害が生じた場合、処理のお手伝いはさせていただきますが、これらのトラブルは基本的にクレームの対象になりませんのでご注意ください。
- (3)施工に際し (A)ご使用されます接着剤は床専用接着剤（ウレタン系）を必ずご使用ください。水性接着剤をご使用されますとフローリングが接着剤に含まれる水分の作用で膨張し突き上げやカップソリを生じる事がありますのでご注意ください。
(B)フローリングを施工する時締めすぎますと板の膨張作用により板が押し合い、特に木の素性が良くない場所に亀裂が生じたり、あるいは床の突き上げ状態になることがありますのでご注意ください。
- (4)養生テープによる塗装の剥がれるトラブルがあります。多くのメーカーさんが多種の養生テープを販売されています。ご使用になる養生テープの使用説明書をご確認の上、現場使用してください。特に日光が当たる場所、圧力が掛かり密着している場所、素材の状態が良くない場所などでは養生テープを剥がす際には塗装面が剥がれることがあります。これらのトラブルは基本的にクレームの対象になりませんのでご注意ください。